

第43回里山一斉調査報告

文・写真 常俊容子(NOB・里山委員会)



写真-1 崩落<能勢町・深山>



写真-2 台風被害後整備地<高槻・本山寺>

第43回里山一斉調査は、従来通り14コース計画、4月2日～28日にかけて12コース開催(雨天で2コース中止)、のべ121名(うち幼児～高校生25名)が参加しました。

今年の花暦は例年よりゆっくりで、エドヒガン、ヤマザクラ、カスミザクラ、ウワミズザクラ、イヌザクラ、ザイフリボクまで、さまざまなサクラが爛漫。

山ではセンダイムシクイ、オオルリ、コマドリ、農地ではヒバリ、ケリが賑やか、泉南ではサシバが季節の訪れを告げる一方で、能勢、箕面、堺などで、ソウシチョウ(特定外来生物)も確認されています。

本調査は1983年「里山動物調査」としてスタート。当時は全国的に絶滅が危惧され、禁猟が続いていた「鹿」が一転、逆に農林業被害を出す害獣として狩猟再開が模索されていたタイミングで、一般にはほとんど認知されず実は身近な里山の哺乳動物と、その生息する里山の現状を市民と共有することが主目的でした(参考:大阪では1986年、鹿の狩猟解禁後も自粛、再開されたのは1994年)。

その後調査コースが中部南部に増え、12回より現「里山一斉調査」に改称。

1999年「大阪府シカ保護管理計画」が策定され(協会は検討会、モニタリング調査に参画)、数のコント

ロール等対策が進められています。

当初は北摂4市3町が対象、里山一斉調査のコースでは最北の能勢・深山から能勢・妙見、箕面・オヶ原、池田・五月山、高槻・本山寺。その後、シカの生息域は拡大し、和歌山県の橋本・玉川峡に定着、去年は隣接エリアが「日根荘大木の農村景観」として府内唯一の「重要文化的景観」に選定されている泉佐野・下大木に出没!(侵入?再進入?)

2022年には当地より数kmの府県境の自動撮影カメラにカモシカが写り話題になりました。現在(第5期計画)対象は府南部も含まれています。

鹿高密度のコースでは、アセビ、マツカゼソウ、カリガネソウ、イノモトソウの仲間など、鹿不嗜好性の植物が目立ち、ナラ枯れや2018年台風後の風倒木でできたギャップや、皆伐後の整備地に外来木本であるナンキンハゼ群落が形成され、ナルトサワギクが侵入。一方で林内が明るくなり、コバノミツバツツジの開花が増える例も。

インパクトの累積で森林生態系が劣化、土砂流亡が進み、健康な森林更新が危うい現状を見て、知ってそれを保全活動にどう繋げられるかが私たちの課題です。

<参考:大阪府では「森林の下層植生への被害の軽減」の長期管理



写真-3 餌付けされるキツネ<吹田・紫金山>



写真-4 ノウサギの糞<四條畷・田原の里山>



写真-5 ウワミズザクラの蕾<八尾・高安山>



写真-6 整備が進む信太山丘陵里山自然公園



写真-7 キシダマムシグサ<泉佐野・下大木>

目標として第7期計画(2034(R16)年)目処に衰退度のランクを下げるとしています>

人の関与、土地の改変などによる変化もあり、府の生物多様性ホットスポット和泉・信太山では「信太山丘陵里山自然公園」(15.6ha)として昨年の8月に第1期区域が開園し、アラカシなど照葉樹を伐採し里山に広がっていた草原に戻す工事など進行、今後の維持管理に注目です。

多様な農空間にかつての自然を実感できる堺・鉢ヶ峯、一方で、里山100選やモニタリングサイト1000の里地里山コアサイト(保全協会担当)でもある枚方・穂谷では農空間の改変により稲作生態系の量と質が劣化、負の影響は顕著ですが、地域で活動する里山ボランティアや高校の生物系クラブと連携し、協会主導で「穂谷の里山プロジェクト」進行中、成果に期待しましょう。

八尾・高安山では宅地エリアで山際まで土の面が無くなり道端の草花は減少。開発工事の影響か、種数が

減っている四條畷・田原の里。

泉南・畔の谷は泉州の玉ねぎ発祥の農村景観から阪和自動車道を境に化石の眠る和泉層群までバラエティに富んでおり、一時消えかけていたセイヨウタンポポが復活の兆し、など変化をキャッチ。

参加者の声からは、楽しい気づきや驚き、さらに保全の機運が伺えるものもあり、同時期の自然の違い、経年変化をみる醍醐味、その地域らしさを知る面白さと意義を感じていただけたことでしょう。

●トピックス● 北摂のキツネは今

キツネプロジェクトin大阪では幸田良介さん(大阪府立環境農林水産総合研究所・生物多様性センター、大谷洋介さん(大阪大学・COデザインセンター)と連携し、アンケート調査、カメラトラップなど実施、主として北摂の丘陵部のキツネの生息地の動向の把握を目指しています。モニタリングサイト1000里地調査(2005-2017年)によると全

国的に減少している可能性が高いとされ、大阪府RDB(2014年)では絶滅危惧I類に指定。大阪中央環状線開設や1970年の大阪万博以前は市街地にも広範に生息していたとされますが、開発とともに孤立。1990年代以降は生息と消滅の情報(聞き取り、直接観察、ロードキルなど)が散発的にあり、2000年代に入ると宅地開発で生息確認、保全協会に情報が寄せられるケースが続きます(例「都市と自然2019年12月号」)。保全協会で調査を受託している万博記念公園では2019年以降毎年生息確認、園内で繁殖していると思われます。

市街地の公園緑地などでの情報も相次ぎ、近年生息地は南に拡大(または再侵入している模様)。

しかし「カワイイ」「かわいそう」で餌付けされる例も見られ、野良キツネ化、人慣れすることでロードキルや人獣共通感染症のリスクが…あらためて人と野生哺乳動物のあるべきカタチを考える時でしょう。

第43回里山一斉調査・コース別動植物確認表

	アオキ	アカビ	ウツギ	ワケギ	エゴノキ	クスノキ	クロモジ	シラカバ	サクラ	ナリタコ	ニハク	ヒサカキ	ホノキ	モチヅシ	ヤマザクラ	ヤマブキ	その他	※凡例 ○花が咲いていた樹木、草本 □つぼみ △花が咲いてなかった樹木、草本 △他の名前であった樹木、草本 ※紙面の関係で、その他の欄に記載出来ない樹木、草本は 申し訳ありませんが省かせていただきました ※コースにより記載のない所がありますが、ないというわけではありせん。
龍巻・妙見	○	◎	◎	◎	○	◎		○	◎			○	◎	○	◎	○	◎	アオダマ・アカマツ・アカメザクラ・イヌザクラ・イロハモミジ・ウリハダカエデ・カシワ・ガズミ・カマツ・クマノミズキ・ケヤキ・サンショウ
黒面・聖天山→オケ原池	◎	◎	◎	□	◎		◎	◎	◎		◎	◎		◎	◎	◎	◎	エドヒガン・イロハモミジ・リンボク
池田・五月山	◎	◎	◎	◎		◎	◎	○	◎		○	◎		○	◎	◎	◎	アラカシ・イヌビワ・イロハモミジ・ウミスズカラ・エドヒガン・エノキ・クサイチゴ・クマノミズキ・コソノガマスミ・サルトリイバラ・サンショ
筑木丘陵・鉢伏山																		
高根・本山寺	◎	○	◎	□	◎	○	◎	○	◎	◎	◎	○	◎	○	◎	◎	◎	ネルトサワグキ・アカガシ・ホノキ・ヤブニツケイ・ヒノキ・スギ・モミ・ツガ・アカマツ・ウラジログシ・シラカバ・イヌシヂ・イロハモミジ
四糸嶽・田原の里山	○	◎	◎	○	○		○	○	◎	◎		◎	◎	○	◎	◎	◎	オオイタビ(栗)・アオモリ・シキミ・ヒメヤシザブシ・ミヅバケビ・コラン・ウリカエデ
八尾・高堂山	○	◎		◎		○	○	○	○	◎	◎				○	◎	◎	キリ・コブシ・ミヅバケビ・クサイチゴ・サルトリイバラ・ヤブニツケイ
堺・鉢ヶ峯	◎	○	○	○		◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	カスミザクラ・アオモジ
泉南・峠の谷	○	□	○	○		○	○	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	ミヅバケビ・ムベ・ナルトサワグキ
和泉・倶利伽藍山						○	○	○	○			○	○	○	◎	◎	◎	
狭佐郡・下大木	◎	◎	○				○	◎	○									ムベ・エノキ・ビワ・クス・キリ・タラヨウ・タラノキ・シキミ・ノイバラ・マグワ・フユイチゴ・アオモジ
枚方・穂谷	○	○	○	○		◎		◎				◎	◎		○	◎	◎	
樺本・玉川峡	○	○	○	○	◎	◎	□	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	ヒメクモコジ・カスミザクラ・オオカワジシャ
龍崎・翠山	○	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	

草 本	イヌノフグリ	オオイヌノフグリ	タチアイノフグリ	オオバコ	ツボミオオバコ	ヘラオオバコ	オドリコソウ	ヒメオドリコソウ	カギドクシ	カラスノエンドウ	スズメノエンドウ	カスマダサ	カンサンタンポポ	セイヨウタンポポ	シロバナタンポポ	キツネノボタン	ギョウリクサ	キラシロ	ダンゲ	シュンラン	スミレ	シヨウジョウバカマ	ツボスミレ	ナズナ	タゴユリ	タツツケバナ	ノジスミレ	ツボスミレ	ナルコユリ	ネコノメソウ	ハコベ	ワシハコベ	ホトケノザ	ママシグサ	ムラサキケマン	ムラサキギョク	ヤエムグラ	その他	
	オオイヌノフグリ	タチアイノフグリ	オオバコ	ツボミオオバコ	ヘラオオバコ	オドリコソウ	ヒメオドリコソウ	カギドクシ	カラスノエンドウ	スズメノエンドウ	カスマダサ	カンサンタンポポ	セイヨウタンポポ	シロバナタンポポ	キツネノボタン	ギョウリクサ	キラシロ	ダンゲ	シュンラン	スミレ	シヨウジョウバカマ	ツボスミレ	ナズナ	タゴユリ	タツツケバナ	ノジスミレ	ツボスミレ	ナルコユリ	ネコノメソウ	ハコベ	ワシハコベ	ホトケノザ	ママシグサ	ムラサキケマン	ムラサキギョク	ヤエムグラ			
龍勢・妙見	③	③					④	○	⑤	⑤		⑥	⑥	⑥				⑦			⑧			⑨						○				⑩	⑩	○	アザミ・ウマノアシガタ・オニタビラコ・ウサイチゴ		
真面・聖天山〜オケ原池	③						④		⑤	⑤		⑥	⑥	⑥			⑦	⑦	⑦					⑨								⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	カナムグラ・ヒメウス・ヤマネコノメソウ		
池田・五月山	③	③		□					⑤	⑤	⑤		⑥	⑥			⑦	⑦	⑦					⑨							⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	アメリカフクロ・ウマゴヤシ・ケツネノボタン	
萩木丘陵・鉢伏山							④	④	④	④																													
高槻・本山寺				○			④	④	④	④	④																			④			④	④	④	○	ヤマネコノメソウ・ニオイスイミレ・シハイスイミレ・シャガ		
四来郷・田原の里山	③	③					④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④		○	④	④	④	④	④	④	④	④				④	④		④	④	④	シハイスイミレ・ニョイスミレ	
八尾・高山山							④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④		○	④	④	④	④	④	④	④	④				④	④	④	④	④	④	ウバユリ・ウツシマノ・ウマノアシガタ・フトスミレ	
堺・鉢ヶ峯	③	③		○			④	○	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④		○	④	④	④	④	④	④	④	④			□	④	④		④	④	④	ナガエツルノゲイトウ	
泉南・峠の谷	③		○	○			④		⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤			⑧	⑧	⑧	⑧					○	④	④	④	④	④	④	④	④	ウラボシ・コクラシ・コムウセンゴケ	
和泉・信太山		○	○				④		⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥			⑧			⑩						○	○	○	④	④		④	④	④	ウマノアシガタ・ウバユリ・ココニタビラコ
泉佐野・下大木		③		○			④	④	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤												○	○	④	④	④	④	④	④	④	
枚方・穂谷		③	③	○	○		④	④	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤			⑧	⑧	⑧								○	④	④	④	④	④	④	④	
橋本・玉川峡	○	③	③	○	○		④	④	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤			⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧		□	④	④	④	④	④	④	④	ヤマネコノメソウ・キンダムシグサ・イナズナ
龍勢・深山				○			④		⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤												□	□	○	④	④	④	④	④	④	フモトスミレ・ココニタビラコ・オランダミミナグサ

哺乳動物	シカ	イノシシ	キツネ	タヌキ	イタチ	テン	リス	ムササビ	ノウサギ	モグラ類	ネズミ類	アライクマ	ヌトリ	ハクビシン	カエル	ヘビ	その他
熊勢・妙見	◎	◎								◎							キチョウ・シオヤトシボ
箕面・聖天山へオケ原池	◎	◎				◎	◎			◎							ニホンカナヘビ
池田・五月山	◎	◎															サワガニ・カワニナ・ヌマガエル
紫木丘陵・鉢伏山																	
高槻・本山寺	◎	◎	□	□	□	□	□	□	□	□	◎			□	◎		クマ・ビロードツリアブ
四條畷・田原の里山		◎					◎	□	◎	◎							ビロードツリアブ・キチョウ
八尾・高山山		◎				◎			◎		◎						
堺・鉢ヶ峯																	ノネコ・テングチョウ
泉南・畦の谷		◎		◎					◎								アナグマ
和泉・佃太山									◎								
康佐野・下太木	◎	◎		◎					◎	◎							アナグマ・ニホンカゲ
枚方・穂谷			□	□	□	□			□	□		□				□	
槻木・玉川峡	◎	◎												◎			カモシカ・ヤマアカガエル
熊勢・深山	◎	◎				◎				◎							ヒキガエル・ナガレタコガエル

※凡例

◎フィールドサイン・鳴き声等で確認。
□聞き取り調査

※コースにより記録のない所がありますが、いないというわけではありません。

特別コース

特別コース

特別コース

鳥 類	アオゲラ	アオシ	イカル	ウグイス	エナガ	オオルリ	カケス	カラス カハシボソガラス	カワウヒワ	キジ	キジバト	コゲラ	コジュケイ	シジュウカラ	スズメ	セキセイ セグロセキレイ	セキレイ	インコ ハクセキレイ	ツグミ	トビ	ヒバリ	ヒヨドリ	ホオジロ	ムクドリ	モズ	ヤブサメ	ヤマガラス	ヤマドリ	ルリビタタ	サシバ	その他
能勢・妙見				◎				◎		◎				◎																	コシアカツバメ
箕面・聖天山へオケ原池	◎			◎		◎		◎	◎			◎						◎	◎			◎	◎		◎	◎	◎				イツヒヨドリ・センダイムシクイ・カワセミ・カワウ・ミサゴ・ソウシチョウ
池田・五月山			◎	◎							◎			◎		◎								◎							イツバメ・カワウ・センダイムシクイ・ソウシチョウ
茨木丘陵・鉢伏山																															
高槻・本山寺	◎		◎	◎				◎	◎			◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎			◎	◎	◎	◎		◎				カワセミ・トラツグミ・ヒガラ・センダイムシクイ・ウ
四条畷・田原の望山				◎				◎				◎	◎	◎	◎	◎						◎		◎		◎					オオバン
八尾・高安山	◎											◎	◎	◎	◎																コマドリ
堺・鉢ヶ巻		◎	◎	◎				◎	◎	◎		◎		◎	◎	◎				◎		◎	◎	◎	◎	◎					イツヒヨドリ・ソウシチョウ
泉南・畦の谷		◎		◎				◎	◎	◎		◎		◎		◎	◎	◎			◎	◎	◎	◎	◎	◎			◎		ケリ・カイツブリ
知泉・信太山		◎		◎									◎	◎	◎									◎					◎		
泉佐野・上大木				◎				◎				◎		◎	◎	◎															コサギ・チュウサギ・キビタキ・アオサギ
枚方・穂谷				◎					◎	◎	◎	◎	◎						◎	◎	◎	◎	◎		◎		◎				
樺木・玉川峡		◎		◎	◎	◎		◎									◎				◎										ツツドリ・カワガラス・アオバト・ヒガラ
熊鷹・翠山	◎												◎	◎	◎							◎	◎	◎	◎		◎				クロツグミ・ヒガラ・センダイムシクイ・サンショウクイ